

## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月13日

上場会社名 株式会社ダブルスタンダード 上場取引所 東  
 コード番号 3925 URL <https://doublestd.com>  
 代表者(役職名) 代表取締役 (氏名) 清水 康裕  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 和田 光伸 (TEL) 03-6384-5411  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	5,637	12.3	1,856	29.0	1,855	28.4	1,273	19.5
2024年3月期第3四半期	5,019	0.3	1,439	△3.1	1,444	△0.6	1,065	△9.9

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,276百万円( 18.4%) 2024年3月期第3四半期 1,077百万円( △5.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	94.21	—
2024年3月期第3四半期	78.52	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	6,613	5,873	88.8
2024年3月期	6,584	5,568	82.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 5,873百万円 2024年3月期 5,455百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	55.0	55.0
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	60.0	60.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,600	6.3	2,550	10.4	2,500	8.9	1,750	5.8	129.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	13,580,000株	2024年3月期	13,580,000株
2025年3月期3Q	64,154株	2024年3月期	64,154株
2025年3月期3Q	13,515,846株	2024年3月期3Q	13,573,352株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その業績を当社としてお約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費の拡大やインバウンド需要の増加等により経済活動の緩やかな持ち直しの動きが見られました。しかし、ロシア・ウクライナ情勢や中東をめぐる情勢の長期化、円安等を起因とするエネルギー・資源・原材料価格の高騰、物価の上昇、世界的な金融市場の変動等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの情報サービス事業においては、ビッグデータの活用、情報セキュリティ強化、ITインフラ整備といった「成長」と「変革」を促進する戦略的投資と、自動化・省力化による業務効率改善・生産性の向上を目的としたDX投資が、引き続き堅調に持続しました。

このような経営環境において、当社グループは顧客の業務効率化を支援する各種サービスの提供を中心に、既存顧客のみならず新規顧客の獲得に注力した結果、新規顧客の拡大を図ることができました。今後の注力商材となりうる新たなサービスの開発を進めるとともに、受注に向けた営業活動を精力的に実施いたしました。また、過年度から実施している事業構造の見直しによって改善した利益率の継続もできており、前年同期比で増収増益となりました。なお、当第3四半期におきまして、今後の開発体制の強化を目的として、子会社である株式会社アスターズの株式を追加取得し、完全子会社といたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高5,637百万円（前年同期比12.3%増）、営業利益1,856百万円（同29.0%増）、経常利益1,855百万円（同28.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,273百万円（同19.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,494百万円となり、前連結会計年度末に比べ36百万円減少いたしました。これは主に、売掛金の減少230百万円によるものであります。

また、当第3四半期連結会計期間末における固定資産は1,118百万円となり、前連結会計年度末に比べ65百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の減少100百万円あった一方、建物の増加272百万円によるものであります。

この結果、総資産は6,613百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は694百万円となり、前連結会計年度末に比べ280百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等の減少230百万円及び未払金の減少39百万円によるものであります。

また、当第3四半期連結会計期間末における固定負債は44百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円増加いたしました。これは主に、子会社の役員退職慰労引当金が3百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は739百万円となり、前連結会計年度末に比べ275百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は5,873百万円となり、前連結会計年度末に比べ305百万円増加いたしました。これは主に、剰余金の配当が743百万円あった一方、親会社株主に帰属する四半期純利益1,273百万円を計上したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月13日に「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました通期の業績見通しに変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,461,238	4,468,235
売掛金	1,009,432	778,602
仕掛品	30,407	33,354
前払費用	23,419	42,820
その他	7,016	171,883
流動資産合計	5,531,515	5,494,896
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	56,621	329,210
工具、器具及び備品（純額）	12,973	56,510
土地	250,714	250,714
建設仮勘定	98,230	—
有形固定資産合計	418,539	636,435
無形固定資産		
ソフトウェア	92,525	69,146
のれん	293,641	268,472
その他	420	2,105
無形固定資産合計	386,587	339,724
投資その他の資産		
投資有価証券	100,000	0
繰延税金資産	52,072	40,577
敷金及び保証金	95,499	98,808
その他	15	3,044
投資その他の資産合計	247,587	142,431
固定資産合計	1,052,714	1,118,591
資産合計	6,584,230	6,613,488

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	323,712	317,610
未払金	50,036	10,973
未払費用	27,240	39,375
未払法人税等	452,493	221,704
未払消費税等	95,297	78,149
前受金	6,603	12,309
その他	20,243	14,792
流動負債合計	975,625	694,915
固定負債		
退職給付に係る負債	8,740	10,169
役員退職慰労引当金	31,170	34,673
固定負債合計	39,910	44,842
負債合計	1,015,536	739,757
純資産の部		
株主資本		
資本金	263,778	263,778
資本剰余金	253,298	146,389
利益剰余金	5,032,832	5,558,762
自己株式	△95,199	△95,199
株主資本合計	5,454,709	5,873,730
非支配株主持分	113,984	—
純資産合計	5,568,693	5,873,730
負債純資産合計	6,584,230	6,613,488

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	5,019,676	5,637,915
売上原価	2,825,425	2,888,932
売上総利益	2,194,251	2,748,983
販売費及び一般管理費	754,664	892,120
営業利益	1,439,587	1,856,863
営業外収益		
保険解約返戻金	8,003	—
受取利息	13	308
その他	80	690
営業外収益合計	8,097	998
営業外費用		
寄付金	2,690	2,050
その他	46	0
営業外費用合計	2,736	2,050
経常利益	1,444,948	1,855,811
特別利益		
投資有価証券売却益	133,134	10,000
特別利益合計	133,134	10,000
特別損失		
固定資産除却損	—	4,517
特別損失合計	—	4,517
税金等調整前四半期純利益	1,578,082	1,861,294
法人税、住民税及び事業税	488,415	573,764
法人税等調整額	11,823	11,494
法人税等合計	500,238	585,259
四半期純利益	1,077,844	1,276,034
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,112	2,639
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,065,731	1,273,395

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,077,844	1,276,034
四半期包括利益	1,077,844	1,276,034
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,065,731	1,273,395
非支配株主に係る四半期包括利益	12,112	2,639

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社アスターズの株式を非支配株主から追加取得したことにより、資本剰余金が106百万円減少しております。その結果、当第3四半期連結会計期間末における資本剰余金は146百万円となりました。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

当社グループは、「WEBマーケティング事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当社グループは、「WEBマーケティング事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	26,342千円	32,029千円
のれんの償却額	25,169千円	25,169千円